

6月末の猛暑から一転して、長袖の上着を着る日があるほど暑さが落ち着き快適な夏になりました。フランスに到着してから今までの写真を見て振り返っていたら、同じ場所から撮った二枚の写真を見つけました。到着したばかりに撮った写真の木は葉が何もないのに対して、最近撮った写真の木は緑に生い茂っていて、もうそれだけの時間をフランスで過ごしていることを実感しました。

7月の出来事

7月になってクラスの編成と先生が変わり、新しいクラスでの勉強が始まりました。これまでの文法の復習をしたり、あるテーマに関する語彙を学んだりしました。前の学期は、文法書に沿って文法を勉強する様な形でした。今学期は、簡単に文法を振り返ってその文法を使った文を書いたり、リスニング問題を解いたりして復習しています。日本語にはない時制が存在し、似ている時制の違いと使い分け方を判別するのが難しいので定期的に復習することで理解しやすくなります。週二回の文化クラスは月に一つの課題を提出します。クラスのレベルによって、最終的に成績に反映される課題の数が変わります。今月の授業では、フランスのガストロノミーについての授業が一番興味深かったです。フランスの食文化がどうやって作られてきたのか、それに関わっている要因や材料の変化について知ることができて面白かったです。

今月から同じクラスになり、授業後にカフェに行ったり出かけたりしていた友達の留学日程が終わり帰国することになりました。帰国する前に、家に呼んでくれて送別パーティーをしました。ご飯を食べながらいろんな話をして、短い期間でしたが一緒に過ごせて楽しい思い出ができました。



7月14日はフランスの革命記念日で学校が休みでした。この日は各地で花火が打ち上げられ、私もディジョンの花火を見に行きました。会場には大勢の人がいて賑わっていました。夏と言えば花火なので、夏にフランスで花火を見ることができてよかったです。

小旅行

毎月の新しいクラスが始まる前日は、新しく入ってくる生徒のテスト日なので休みになります。その連休を利用して、ストラスブールとコルマルに行ってきました。ストラスブールはフランス東部のアルザス地方にあり、TGV を利用して約2時間で行くことができます。ドイツとの国境のすぐ近くにある街で、ドイツとフランス領を何度も行き来していた歴史があります。実際に街にはドイツとフランス文化が混ざって存在しています。特に印象的だったのは、ストラスブール大聖堂です。パリやリヨンの大聖堂も訪れましたが、ストラスブール大聖堂はピンクがかった外見と、高さが圧倒的でした。細かい彫刻が全面に施されていて、日が暮れてきた時と昼間に見るとまた違って見えました。

次の日はコルマルに行きました。アニメ映画の舞台になっている街で、街並みが絵本のようなかわいい建物ばかりでした。名物のタルトフランベやプレッツェルも食べられて、両方ともとっても美味しかったです。水運で栄えた街なのでどちらの中心地にも川が流れていて、水上バスでの観光をしている人がいて他の町とは違う雰囲気を感じることができました。ストラスブールでは、閘門を使って川の水位を調節して船が通過する様子を見ることができ、産業遺産の授業で勉強したことを実際に見ることができてよかったです。ストラスブールとコルマルはクリスマスマーケットでも有名なので、いつか冬の時期にも訪れてみたいと思いました。



↑ ストラスブール



↑ コルマル

よく一緒に過ごしている友達が初めて出会った時よりフランス語が話せるようになってるねと言ってくれたり、旅行先でお店の人や駅員さんと会話ができるようになったりと少し会話力が進歩したことを実感することができた月でした。残りの2か月でもっと話せるように語彙力を高めて表現を増やしていきたいです。